

「OHOW2022」国際シンポジウムにて当社保有技術に関する発表を行いました

2022年12月8日～10日にタイ王国・パタヤで開催された OHOW2022 (The 1st International Symposium on One Health, One World 2022) において、当社事業推進本部の小西真治と国際推進室の萩真次が口頭発表を行いました。

東京大学生産技術研究所、One Health One World 連携研究機構、アジア工科大学院 (AIT) の主催による当シンポジウムは、都市の安全と減災、インフラマネジメントと持続可能な建設環境、気候変動と緑の復興、アジア地域における公衆衛生をテーマとして、日本やタイ、ネパール、インド、バングラデシュ、ミャンマー、インドネシア、中国、カンボジア、フィリピン、ベトナム、パキスタンなどから、約90名の研究者や技術者、学生が参加し、連日活発な議論がなされました。

小西は、「インフラマネジメントと持続可能な建設環境」のセッションにおいて、「Development of Inspection Methods for Interior Finish in Stations (駅舎における内装仕上げ検査方法の開発)」について発表しました。また、萩は同セッションのスペシャルレクチャラーとして、「Application of a Latest-Model Ground Water Flow Meter (最新型の地下水流向流速計の応用)」について発表しました。

タイやベトナムをはじめとする東南アジアでは、経済成長の一方で、インフラの維持管理や土壌・地下水汚染の対策が進んでいないことが問題となっています。当社は、国内で培った保有技術の導入・展開を通じて、開発途上国の持続可能な社会づくりに貢献できるよう今後も尽力して参ります。

以上



参加者の集合写真



発表の様子(左：小西、右：萩)

＜本資料に関するお問い合わせ先＞

株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング

TEL:03-5246-4150

URL: <https://www.atk-eng.jp/>

経営管理本部 吉田